

公園管理運営協議会の全体活動を
「グリーンフレンズフェア」と名付けました。

平成二〇年五月一六日に公園管理運営協議会役員会が開催され、全体活動の内容を検討するとともに、活動名称を皆さんに親しみを持って呼んでいただけるよう「グリーンフレンズフェア」と命名しました。

今後のお知らせ等にも「グリーンフレンズフェア」と呼ばせていただきますので、ご承知おきください。

第一回「グリーンフレンズフェア」開催。

平成二〇年五月二五日に「第一回グリーンフレンズフェア」が開催されました。

あいにくの雨模様となり、草刈り等の管理業務を行うことはできませんでしたが、一部の方々の協力の下、雨の日でなければ気が付かない、さとやま公園の側溝清掃が行われました。

管理業務の代替として、万福寺会館において顧問である櫻井先生の講義や「しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム」の協力で、アコースティックギターデュオ「デパチカ」によるコンサートも行われ、有意義な時間を過ごすことができました。



第一回グリーンフレンズフェアにおける櫻井先生の講演

緑の管理に関しては安全がまず一番大事です。これがまず大原則であることを前提にこれから話をいたします。

まず最初に、夏場の作業は本当に暑くてつらくなるものです。炎天下で一時間作業をすると、次回から人が来なくなったりします。このように、最初につらいことをすると、人は継続しなくなり、結果緑の維持管理ができないこととなります。ポイントはまず最初に楽しみを見つけてことです。これは子供にとっても一緒です。子供と一緒に楽しむ視点、いろんな人と知り合って楽しいコミュニティを創る視点、これが大事です。

次に、自然とのふれあいの中で大切なのは五感です。見る、聞くだけでなく、触れるとか臭いを嗅ぐといった視点です。最近目立つのは、転んで鼻を怪我する子供が多いことです。こういった子供は転ぶ体験をしていないので、いわゆる受身が取れず、その結果急所である鼻を怪我してしまっわけです。新百合山手には転んでも大丈夫な場所がたくさんあります。それが公園・緑地なのです。こういった場所で転ぶ体験をさせることが必要なのです。これはつまり「〇〇をしてはいけない」ということではなく、「〇〇を経験してみる」ということです。「〇〇をしてはいけない」を少なくすることです。また「〇〇を経験させる」上では、そういった指導を子供たちにしてあげられるコミュニティが大切になってきます。

そして万福寺はビオトープがあります。こういったビオトープはいくつかの環境が積み重なって形成されています。水田があつて湿度があるとホタルが息できる環境ができます。こういった積み重ねをエコトーンと言います。こういった自然環境を見る力、知っておくことも大事なのです。また、こういった体験をする時ですが、われわれはその環境に「参加させてもらう」という気持ちが必要です。そしてその時には五感で参加させてもらうのです。

これからのこの会の共通目的として「楽しみながらやる」「五感で感じる」「体験を通して環境を覚える」そして「身近な自然を次世代に継承する」ことを目的に進めて行ければと思っております。



第一回グリーンフレンズフェアで
「コンサートを開催くださった
ギターデュオ「デパチカ」さんからのメッセージ

コンサートの前の週に、新百合山手の街並みを、区画整理組合事務局の方に案内いただきました。緑と住まいがとても良い形で共存している、理想的な街並みだと感じました。緑がとても手入れされていて、歩いていて気持ちよかったです。

また、街の中にアートホールがあったり、音楽や能などのイベントで街おこしをしている話をお聞きして、とても文化的な街だと感じました。

当日、会場にお越しいただいた皆様も、とても暖かい雰囲気、私たちの拙い演奏を見守っていただいたのでとても演奏しやすかったです。

会場のほつちも、立派な建物で、天井が高く音響も良かったので、今後も是非、音楽のイベント等を定期的に行っていくのも、良いかも知れないと感じました。

今回は屋内でしたが、次回は、ぜひ「ふるさと緑地」で演奏出来るのを楽しみにしております。

本日は、どうもありがとうございました。



〔公園の利用状況〕

安城ナムサダン親子ふれあい公演が
開催されました。

平成二〇年五月三十日・六月一日に韓国京畿道より韓国ナンバーワン伝統民俗芸能団である安城ナムサダンによる日本初の公演がおやする公演にて行われました。

本公演は神奈川県・川崎市が後援となった行事である為、役員会として利用の許可を致しました。

初日は雨天のため中止となりましたが、翌六月一日は天候も回復し午前と午後各一回、約一時間三十分の公演が行われました。

伝統楽器の演奏のほか、民族衣装を着たアクロバティックな舞踊や演技、観客とコミカルな会話を交えた綱渡りなど、日本国内では観る機会の少ない妙技の数々に、地元の人はもちろん電車を利用して集まった約六百人以上の観客を大いに盛り上げ、日韓文化交流の役割を果たしました。



王禪寺ドッグサークルによる
ドッグランがドッグランの開催は
雨天のため中止に

平成二〇年六月二日に王禪寺ドッグサークルによるドッグランがさとやま公園にて行われる予定でしたが、しかし、当日は荒天のため残念ながら中止となりました。

王禪寺ドッグサークルはボランティアで老人ホームなどへのなどへ訪問を行ったり犬の教育と飼い主の啓蒙などを目的としている団体であり、本協議会の活動と繋がる部分が多々あると考え、役員会として利用の許可を致しました。

今後、王禪寺ドッグサークルの社会貢献活動等に期待します。

今後のグリーンフレンズフェアについて

今後のグリーンフレンズフェアは、八月末と十一月中旬頃を想定しております。

日程等は役員会にて協議させていただきます、決定次第皆様にお知らせさせていただきます。

お知らせについては、新百合山手HP

<http://www.shinyuriyamate.com/index.html>

にも掲載しますので、ご覧ください。